

物流効率化シンポジウム in 大分

～ROBO船を活用した物流効率化の展望を探る～

入場
無料

日時	平成31年1月22日(火) 13:30～16:35(受付開始:13:00)
場所	大分県庁 正庁ホール 大分市大手町三丁目1番1号
定員	物流事業者、荷主企業、経済団体等 150名

【大分港大在地区ふ頭】

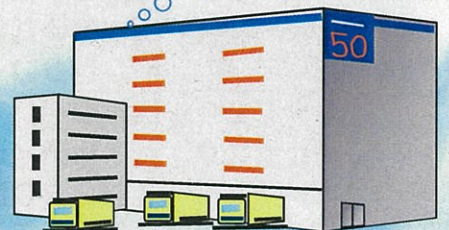
モーダルシフトの推進で...



ドライバーの労働環境改善

取引環境改善

貨物の安定的な輸送を確保



ドライバー不足に対応

CO2排出量削減



商船三井フェリー(株):むさし丸



川崎近海汽船(株):北王丸



日本通運(株):ひまわり5

【主催】九州運輸局、大分県、(公財)九州運輸振興センター
 【後援】九州経済産業局、大分労働局、九州トラック協会、
 大分県ROBO船利用促進協議会、西日本鉄道(株)、JR九州
 【事務局】九州運輸局 物流効率化政策推進本部

開催趣旨

物流は、我が国の産業競争力の強化や、豊かな国民生活を実現する重要なインフラであり、企業活動や国民生活に必要不可欠なものとなっている一方で、貨物の小口化・多頻度化が進むなど、物流産業を取り巻く状況は大きく変化し、また少子高齢化に伴う労働力人口の減少によって、中長期的には人材の確保が困難になっていく可能性が指摘されています。

このような状況のもと、我が国の物流機能を途絶えさせることなく維持していくためには、物流業務の生産性を向上させ、限られた労働力で流通業務を行うことが不可欠であり、物流事業者同士はもとより、荷主も含めた関係者が連携し、流通業務省力化の取組みを促進していくことが求められています。

このシンポジウムは、トラックドライバーの労働環境改善に大きな効果が期待され、モーダルシフトの担い手として注目を浴びつつある「RORO船」にフォーカスし、RORO船を利用することによるメリットや活用方法、今後の展望などについて、九州の物流事業者・荷主をはじめとした関係者に広く情報発信し、物流効率化を検討する際の一助となることを目的として開催します。

プログラム

13:30 開会

主催者挨拶 九州運輸局 次長 吉元 博文
大分県 副知事 安東 隆

13:45 基調講演

「海運モーダルシフトを支える内航RORO船」
三菱造船株式会社 マリンエンジニアリングセンター
造船設計部 計画設計課 主席技師 森 哲也 氏

14:30 大分県の取組紹介

「九州の東の玄関口としての拠点化戦略とRORO船航路」
大分県 土木建築部港湾課 ポートセールス推進監 八坂 悦朗

15:00 物流効率化取組事例の紹介

「本州⇄九州間における長距離最適輸送モードの確立」
センコー株式会社 東九州車両支店長 殿村 英彦 氏

15:20 休憩

15:30 パネルディスカッション

「RORO船を活用した物流効率化の展望を探る」

◇コーディネーター

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部長 岡野 秀之 氏

◇パネリスト

株式会社柳川合同 代表取締役社長 荒巻 哲也 氏

商船三井フェリー株式会社 大分営業所長 今野 真直 氏

川崎近海汽船株式会社 大分事務所長 塩見 圭 氏

日本通運株式会社 大分海運事業所長 佐藤 信宏 氏

◇アドバイザー

九州運輸局 交通政策部長 阿部 雄介

16:30 閉会挨拶

公益財団法人九州運輸振興センター
講演会等実行委員長 大黒 伊勢夫

16:35 閉会

講演者 プロフィール

森 哲也 氏(もり てつや)

三菱造船株式会社 マリンエンジニアリングセンター
造船設計部 計画設計課 主席技師



1969年生まれ。宮崎県出身。
九州大学卒。
下関造船所に勤務。
同所の主力機種であるカーフェリーや
RORO船、小型客船の設計技師。
近年は、プロジェクトリーダーとして、
顧客の要望から新造船の全体像を描く、
企画設計に従事。

趣味はスポーツ全般。

殿村 英彦 氏(とのむら ひでひこ)

センコー株式会社 東九州車両支店長



1973年生まれ。静岡県出身。
金沢経済大学卒。
東九州車両支店に勤務。
支店は、ドライバー110名、車両300台
を有し、センコーグループで最大規模
の自動車事業所。
支店長として自動車運送事業に従事
しつつ、センコー長距離幹線輸送事業
の再編に取り組む。趣味はゴルフ。

コーディネーター・パネリスト プロフィール

岡野 秀之 氏(おかの ひでゆき)

公益財団法人九州経済調査協会
事業開発部長 兼 BIZCOLI館長



1973年生まれ。神奈川県出身。
九州大学大学院卒。
専門は、地域経済論、産業配置論、地域政
策論。2014年～2016年版九州経済白書の総
論を担当。半導体産業のグローバル産業ク
ラスタの調査研究をライフワークとし、産業
立地・産業配置の観点からロジスティクスと
関わる。共編著書に『半導体クラスタのイノベーション～日中韓
台の競争と連携』中央経済社などがある。

荒巻 哲也 氏(あらまき てつや)

株式会社柳川合同 代表取締役社長



1967年生まれ。福岡県出身。
山口大学卒。
郷土 柳川市と連携して、柳川観光PR
のデザインを施したラッピングトラック
を導入。全国に「水郷柳川」の情報発
信を行うなど、地域貢献にも積極的に
関わっている。趣味は山登り、ゴルフ。

一昨年から2年連続で富士山に登頂、今年も富士山登頂
を目指す。

今野 真直 氏(こんの まさなお)

商船三井フェリー株式会社 大分営業所長



1975年生まれ。北海道出身。
関西大学卒。
入社後は北海道～関東のフェリー航
路を振り出しに、以降RORO船関連部
署も含め各地を転々とし、昨年春博多
支店、この1月に大分営業所着任。
現在は九州航路改編に伴う業務に従
事。趣味はスポーツ全般で、最近観戦が主。

塩見 圭 氏(しおみ けい)

川崎近海汽船株式会社 大分事務所長



1969年生まれ。北海道出身。
釧路公立大学卒。
2016年5月末から大分に赴任。
入社から現在に至るまで、内航RORO
船に関わる部署や臨港店を経験。
現在は、清水ノ大分航路の貨物の集
荷営業に従事。九州の勤務は初めて
となるが、大分の魅力と味力を肌で感じ、大分での生活を
満喫中。趣味は上達しないゴルフ。

佐藤 信宏 氏(さとう のぶひろ)

日本通運株式会社 大分海運事業所長



1968年生まれ。大分県出身
久留米大学卒
平成2年に入社後、大分港や鹿児島
県志布志港での勤務経験があり、現
在は大分海運事業所で海運業務全般
を担当。19年4月のRORO船事業航
路改編に向け、準備・奮闘中。
趣味は下手なゴルフとスポーツジム通い。



物流効率化シンポジウム
in 大分
(2019年1月22日開催)





